

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 令和元年6月25日(火)
14:10～15:30
場 所 飯南町立頓原小学校理科室
指導者 埋蔵文化財調査センター職員
頓原小学校教諭

1 主題 銅鏡作り体験と飯南町の歴史

2 ねらい

- ・銅鏡作り体験を通じて、古代の人々の生活や文化への理解を深める。
- ・身近な飯南町にも古代から続く歴史があることを知り、歴史学習に対する学習意欲を高めるとともに、ふるさとを愛する心を育てる。

3 展開

時刻	児童の学習内容(指導者)	教師の支援等	準備物
14:10	はじめの会(担任) ・講師紹介 ・オリエンテーション	・講師の方の紹介をする ・学習内容やねらいを説明する。	【学校】 ・電子黒板 ・延長コード ・カメラ ・パソコン
14:10	鏡の説明を受け鏡の制作をする。(講師)	・社会科で学習したことを思い出すよう促し、活動に関心をもてるように声をかける。	【埋蔵センター】 ・金属鏡製作キット
14:30	地域の歴史を知る。(講師) 縄文土器を観察する。(講師)	・関心をもって飯南町の歴史の説明を聞いたり、土器を観察したりできるように声をかける。	・パワポデータ資料(USB) ・活動説明資料
15:00	休憩		・遺物(飯南町出土品)
15:10	鏡製作の続きをする。(講師)		・鏡(さわれるもの) ・ゴム手袋
15:30	おわりの会(担任) ・質問,感想 ・児童代表あいさつ ・講師の先生のお話 ・アンケートを書く		

